

山岳地の道路改良・拡幅等で採用されています。

プレキャストパネルをP C鋼棒で連結・緊張（カンティレバー方式を採用）することで同パネルを型枠として、気泡混合材を1パネル（1m）毎に打設硬化させながら、垂直壁の盛土構造物を構築する。

- * 土作業が少なく、仮設も小規模、施工速度も速いため、経済性が高い。
- * 基礎ブロック設置の床付幅が1.5m程度で施工可能。又軟弱地盤上の擁壁構築が可能。
- * 裏込め材に気泡混合軽量盛土材を用いるため、既設構造物の撤去や転石、浮き石の撤去が不要。
- * 地すべり地形箇所においてはN-S.P.Cパネルに直接永久アンカーが配置できるため、別途受圧板が不要。

